



2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月14日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4443 URL http://jp.corp-sansan.com
 代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/CF0/財務経理部 担当 (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の連結業績 (2020年6月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	7,636	21.3	686	525.4	454	—	388	—
2020年5月期第2四半期	6,294	—	109	—	17	—	△91	—

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 392百万円 (—%) 2020年5月期第2四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	12.46	12.32
2020年5月期第2四半期	△2.97	—

(注) 2020年5月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	20,984	10,982	52.1
2020年5月期	22,819	10,552	46.2

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 10,933百万円 2020年5月期 10,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想 (2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,767 ~16,302	18.0 ~22.0	757 ~1,010	0.0 ~33.4	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の黒字の計上についても見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期2Q	31,138,853株	2020年5月期	31,138,853株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	40株	2020年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期2Q	31,138,842株	2020年5月期2Q	30,726,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションを掲げ、「クラウドソフトウェア」に「テクノロジーと人力による名刺データ化の仕組み」を組み合わせた新しい手法を軸に、企業やビジネスパーソンの抱えるさまざまな課題の解決につながるサービスを展開しています。

新型コロナウイルスの感染者数等については、当面は不透明な状況が継続することが予想されるものの、当第2四半期連結累計期間においては、日本全国に緊急事態宣言が発出されていた2020年4月や5月に比べると、営業活動における制約等は緩和傾向にありました。このような環境の下、継続的な売上高の成長の実現に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化に取り組みました。また、法人向けクラウド名刺管理サービス「Sansan」と名刺アプリ「Eight」上で利用できる「オンライン名刺」の利用拡大を推進したほか、新たな取り組みとしてクラウド請求書受領サービス「Bill One」とビジネスイベント運営に関する課題を解決するイベントテックサービスの立ち上げに注力しました。

2020年5月よりサービス提供を開始した「Bill One」の当第2四半期連結会計期間末における契約件数は、2020年6月末と比較して10.6倍となり、当社サービスの中で最も立ち上がりの早いサービスとなりました。なお、2020年12月にはBill One事業部を発足しており、営業体制の強化やサービス改善等によって、2022年5月期末の契約件数1,000件以上を目指しています。そのほか、イベントテックサービスにおいては、新世代エントリーフォーム「Smart Entry by Eightオンライン名刺」と法人向けセミナー管理システム「Sansan Seminar Manager」の提供を新たに開始しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,636,768千円（前年同期比21.3%増）、売上総利益は6,690,268千円（前年同期比24.3%増）、売上総利益率は87.6%（前年同期比2.1ポイント増）となりました。また、営業損益以下は売上高の伸長等に伴い利益率が大きく改善し、営業利益は686,904千円（前年同期比525.4%増）、経常利益は454,260千円（前年同期は17,203千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は388,123千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失91,110千円）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

なお、当社IRサイトに各事業のサービス内容やビジネスモデル、競争優位性等を掲載しています。詳しくは以下URLをご参照ください。

IRサイト（事業内容）：<https://ir.corp-sansan.com/ja/ir/management/businessinformation.html>

①Sansan事業

当社は法人向け名刺管理サービス市場においてサービスを展開しており、当社が展開する「Sansan」は83.5%の市場シェア（注1）を占めていますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大によるリモートワーク等の働き方の変化やデジタルトランスフォーメーションへの意識改革、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、市場規模はさらなる拡大が続いています。また、デジタルトランスフォーメーション市場は2030年において3兆425億円（2019年比2兆2,513億円増）（注2）、国内SaaS市場は2024年には1兆1,178億円（2019年比5,162億円増）（注3）の規模に達すると予想されています。

当第2四半期連結累計期間においては、「Sansan」の契約件数及び契約当たり月次売上高のさらなる拡大に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化のほか、「オンライン名刺」機能の利用拡大に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規契約獲得に一定のマイナス影響が生じたものの、「Sansan」の販売やマーケティング活動において、他社パートナーとの協業体制の強化等が奏功し、中小企業の新規契約獲得が進んだ結果、当第2四半期連結会計期間末における「Sansan」の契約件数は前年同期末比15.4%増の7,230件となりました。また、契約当たり月次売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、「Sansan」の初期導入時に提供するサービス料金等で構成される一部の売上高が低調に推移したこと等から、前年同期比3.8%増の165千円に留まりました。加えて、強固な顧客基盤の実現に向け、既存顧客の利用拡大に対する継続的な取り組みを行った結果、直近12か月平均の月次解約率（注4）は0.65%（前年同期比0.09ポイント増）となり、1%以下の低水準を維持しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,899,305千円（前年同期比19.2%増）、うち「Sansan」における固定収入であるストック売上高は6,561,800千円（前年同期比25.5%増）となりました。また、セグメント利益は2,854,160千円（前年同期比35.1%増）となりました。

- (注) 1. 「名刺管理サービスと営業サービス(SFA/CRM/オンライン名刺交換)の最新動向」
(2020年12月 シード・プランニング調査)
2. 富士キメラ総研「2020 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」
3. 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2020年版」
4. 「Sansan」の既存契約の月額課金額に占める、解約に伴い減少した月額課金額の割合

②Eight事業

Eight事業では、プロフィール管理や名刺管理機能が無料で使用できる名刺アプリ「Eight」をベースとし、一部利用機能を拡充したBtoCサービス「Eightプレミアム」と「Eight」における名刺共有を企業内で可能にするサービス「Eight 企業向けプレミアム」や「Eight」のユーザーに対して広告配信ができるサービス「Eight Ads」、買い手と売り手を効率的にマッチングさせ、生産性を上げるビジネスイベント「Meets」、転職潜在層のユーザーにアプローチ可能な採用関連サービス「Eight Career Design」等のBtoBサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、「Eight 企業向けプレミアム」等のBtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだ結果、当第2四半期連結会計期間末における「Eight 企業向けプレミアム」の契約件数は前年同期末比67.4%増の1,949件となりました。また、「Eight」ユーザー数(注5)は前年同期末比23万人増の281万人となり、順調に伸ばしました。加えて、2020年11月には、若手ビジネスパーソンをターゲットとしたビジネスイベント「Climbers 2020」を新たに開催し、14,000名以上のエントリーを獲得する等、これまでの当社のビジネスイベントの中では最大級の実績となりました。そのほか、連結子会社化したログミー株式会社(以下、ログミー社)の業績が2020年9月より寄与しています(当セグメントのBtoBサービス売上高に計上)。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は738,362千円(前年同期比46.3%増)、うちBtoCサービス売上高は148,369千円(前年同期比3.6%増)、BtoBサービス売上高は589,993千円(前年同期比63.2%増)となりました。セグメント損益については、現在は将来の収益化に向けた先行的な投資を行っているフェーズであることから、セグメント損失358,812千円(前年同期はセグメント損失466,528千円)を計上しました。

- (注) 5. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は20,984,972千円となり、前連結会計年度末に比べて1,834,795千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少1,432,467千円及び投資有価証券の減少1,006,966千円、並びにログミー社取得によりのれんが195,698千円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は10,001,994千円となり、前連結会計年度末に比べ2,265,152千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少1,804,283千円、及び1年内返済予定の長期借入金の減少154,262千円、顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の減少332,217千円によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産額は10,982,978千円となり、前連結会計年度末に比べ430,356千円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が388,123千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,436,067千円減少し、11,227,378千円となりました。当該増加には資金にかかる為替変動による影響494千円が含まれています。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は201,753千円(前年同期は728,706千円の収入)となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の計上450,462千円及び非現金支出となる減価償却費の計上338,432千円、持分法による投資損失の計上157,490千円及び未払金の増加100,123千円であり、主な減少要因は前受金の減少360,753千円、法人税等の支払額160,753千円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は214,940千円(前年同期は5,664,749千円の支出)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入1,680,107千円であり、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出207,589千円、無形固定資産の取得による支出324,539千円、関係会社株式の取得による支出660,573千円が生じたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,853,255千円(前年同期は11,714,565千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,984,378千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月に一部の地域に対して緊急事態宣言が発出されたため、今後の動向については注視する必要がありますが、少なくとも日本全国に緊急事態宣言が発出されていた2020年4月や5月ほどの影響はないものと捉えています。したがって、さらなる大きなマイナス影響は想定しておらず、これまでの堅調な業績推移に鑑みて、現時点において期初に公表した通期業績予想に変更はありません。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益は高い進捗率となっていますが、第3四半期以降において、売上高成長率の加速に向けたさまざまな戦略及びそのための投資を検討・実行していく予定にしています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,815,225	11,382,758
売掛金	441,060	454,496
前払費用	410,582	463,729
その他	176,945	265,768
貸倒引当金	△3,621	△3,969
流動資産合計	13,840,192	12,562,783
固定資産		
有形固定資産	414,467	508,981
無形固定資産		
ソフトウェア	925,803	982,405
のれん	—	195,698
その他	261	196
無形固定資産合計	926,064	1,178,300
投資その他の資産		
投資有価証券	6,941,596	5,934,629
敷金	549,412	545,087
繰延税金資産	145,185	248,371
その他	2,850	6,818
投資その他の資産合計	7,639,043	6,734,906
固定資産合計	8,979,576	8,422,189
資産合計	22,819,768	20,984,972

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,922	107,183
短期借入金	20,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,267,490	1,113,228
未払金	596,265	643,969
未払法人税等	225,471	212,846
未払消費税等	429,584	187,965
前受金	5,289,822	4,957,605
賞与引当金	289,551	319,253
その他	114,449	178,850
流動負債合計	8,335,558	7,870,902
固定負債		
長期借入金	3,892,598	2,088,314
その他	38,990	42,777
固定負債合計	3,931,588	2,131,091
負債合計	12,267,147	10,001,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,236,650	6,236,650
資本剰余金	3,977,043	3,977,043
利益剰余金	344,184	732,308
自己株式	—	△262
株主資本合計	10,557,879	10,945,740
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△15,921	△11,843
その他の包括利益累計額合計	△15,921	△11,843
新株予約権	10,663	43,772
非支配株主持分	—	5,308
純資産合計	10,552,621	10,982,978
負債純資産合計	22,819,768	20,984,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年 6月 1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年 6月 1日 至 2020年11月30日)
売上高	6,294,801	7,636,768
売上原価	912,283	946,499
売上総利益	5,382,518	6,690,268
販売費及び一般管理費	5,272,678	6,003,363
営業利益	109,840	686,904
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,065	416
為替差益	—	854
解約違約金収入	1,964	2,619
助成金収入	—	2,049
投資有価証券売却益	—	32,897
投資事業組合運用益	—	5,498
その他	567	547
営業外収益合計	3,597	44,882
営業外費用		
支払利息	2,659	15,080
株式交付費	28,102	—
株式上場費用	15,175	—
支払手数料	19,456	3,787
為替差損	625	—
持分法による投資損失	26,705	157,490
賃貸借契約解約違約金損失	—	92,953
その他	3,510	8,216
営業外費用合計	96,234	277,527
経常利益	17,203	454,260
特別損失		
固定資産除却損	6,421	3,798
減損損失	37,854	—
特別損失合計	44,276	3,798
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,073	450,462
法人税、住民税及び事業税	64,036	164,765
法人税等調整額	—	△103,186
法人税等合計	64,036	61,579
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,110	388,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	758
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△91,110	388,123

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年 6月 1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年 6月 1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,110	388,882
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,283	4,077
その他の包括利益合計	2,283	4,077
四半期包括利益	△88,826	392,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,826	392,201
非支配株主に係る四半期包括利益	—	758

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年 6月 1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年 6月 1日 至 2020年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△27,073	450,462
減価償却費	291,422	338,432
のれん償却額	—	5,017
減損損失	37,854	—
固定資産除却損	6,421	3,798
株式報酬費用	—	11,230
株式交付費	28,102	—
賃貸借契約解約違約金損失	—	92,953
貸倒引当金の増減額(△は減少)	234	317
賞与引当金の増減額(△は減少)	58,722	29,669
事業所閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△6,960	—
受取利息及び受取配当金	△1,065	△416
支払利息	2,659	15,080
支払手数料	19,456	157
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△32,897
投資事業組合運用損益(△は益)	—	△5,498
持分法による投資損益(△は益)	26,705	157,490
売上債権の増減額(△は増加)	11,322	△9
前払費用の増減額(△は増加)	△125,713	△54,315
その他の資産の増減額(△は増加)	18,614	△87,379
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,002	2,002
未払金の増減額(△は減少)	214,381	100,123
前受金の増減額(△は減少)	114,534	△360,753
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,528	△244,569
その他の負債の増減額(△は減少)	83,281	△59,080
その他	23,335	15,775
小計	739,704	377,591
利息及び配当金の受取額	1,205	933
利息の支払額	△4,245	△16,017
法人税等の支払額	△7,957	△160,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,706	201,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△190,127	△207,589
無形固定資産の取得による支出	△265,221	△324,539
投資有価証券の取得による支出	△5,045,734	△131,660
投資有価証券の売却による収入	—	1,680,107
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△132,529
関係会社株式の取得による支出	—	△660,573
敷金の差入による支出	△168,316	△10,182
敷金の回収による収入	4,650	1,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,664,749	214,940
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,165	123,938
長期借入れによる収入	4,980,545	—
長期借入金の返済による支出	△65,168	△1,984,378
株式の発行による収入	6,815,396	—
新株予約権の発行による収入	—	21,879
その他	△19,373	△14,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,714,565	△1,853,255
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	494
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,778,757	△1,436,067
現金及び現金同等物の期首残高	5,468,495	12,663,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,247,252	11,227,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,789,973	504,828	6,294,801	—	6,294,801
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	5,789,973	504,828	6,294,801	—	6,294,801
セグメント利益または損失(△)	2,112,931	△466,528	1,646,403	△1,536,562	109,840

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,536,562千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

Sansan事業、Eight事業及び報告セグメントに帰属しない全社費用として、ソフトウェアについて帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において、Sansan事業6,387千円、Eight事業9,648千円、報告セグメントに帰属しない全社費用21,818千円です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Sansan事業	Eight事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,899,305	737,462	7,636,768	—	7,636,768
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	900	900	△900	—
計	6,899,305	738,362	7,637,668	△900	7,636,768
セグメント利益または損失(△)	2,854,160	△358,812	2,495,347	△1,808,442	686,904

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,808,442千円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「Eight事業」セグメントにおいて、ログミー株式会社の株式を取得し、連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しています。当第2四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は195,698千円です。